

東京都立世田谷泉高等学校
過去3年間（令和3年度～5年度）の作文の出題

令和3年度	第1学年相当	<p>問題 次の「ことば」を読んで、問いに答えなさい。 「変わらない」のではない。「変わらない」という決断を自分でしているだけだ。 アルフレッド・アドラー（オーストラリアの心理学者）</p> <p>問い この「ことば」を踏まえ、次の二点について、あなたが考えたことを六〇〇字程度で具体的に説明しなさい。 Ⅰ これまでの体験と、世田谷泉高等学校の特色を踏まえて、高校生活で取り組みたいこと Ⅱ 将来の目標や進路希望</p>
	相当2学年	<p>問題 次の「ことば」を読んで、問いに答えなさい。 自分がどこで生まれ、どこで生きてきたかは重要ではない。自分がそこで何をしてきたかが重要なのだ。 ジョージア・オキーフ（アメリカの画家）</p> <p>問い この「ことば」を踏まえ、次の二点について、あなたが考えたことを六〇〇字程度で具体的に説明しなさい。 Ⅰ これまでの体験と、世田谷泉高校の特色を踏まえた上で、高校生活で取り組みたいこと Ⅱ 将来の目標や進路希望</p>
令和4年度	第1学年相当	<p>問題 次の「ことば」を読んで、問いに答えなさい。 もう終わりだと思うのも、さあ始まりだと思うのも、どちらも自分である。 フェデリコ・フェリーニ（イタリアの映画監督）</p> <p>問い この「ことば」を踏まえ、次の二点について、あなたが考えたことを六〇〇字程度で具体的に説明しなさい。 Ⅰ これまでの体験と、世田谷泉高等学校の特色を踏まえて、高校生活で取り組みたいこと Ⅱ 将来の目標や進路希望</p>
	相当2学年	<p>問題 次の「ことば」を読んで、問いに答えなさい。 発見の旅とは、新しい景色を探すことではない。新しい目で見ることなのだ。 マルセル・ブルースト（フランスの作家）</p> <p>問い この「ことば」を踏まえ、次の二点について、あなたが考えたことを六〇〇字程度で具体的に説明しなさい。 Ⅰ これまでの体験と、世田谷泉高校の特色を踏まえた上で、高校生活で取り組みたいこと Ⅱ 将来の目標や進路希望</p>
令和5年度	第1学年相当	<p>問題 Ⅰ 次の「ことば」はどのようなことだと思うか、三〇〇字程度で説明しなさい。ただし、自分の経験や見聞きしたことを入れること。 一歩踏み出せるなら、もう一歩も踏み出せる。 トッド・スキナー（アメリカの登山家） Ⅱ 世田谷泉高等学校の特色と高校生活で取り組みたいことを、三〇〇字程度で説明しなさい。</p>
	相当2学年	<p>問題 Ⅰ 次の「ことば」はどのようなことだと思うか、三〇〇字程度で説明しなさい。ただし、自分の経験や見聞きしたことを入れること。 チャンスは、準備のない者には微笑まない。 ルイ・パスツール（フランスの細菌学者） Ⅱ 世田谷泉高校の特色と高校生活で取り組みたいことを、三〇〇字程度で説明しなさい。</p>